

第2節 学校教育課

〔総括概要〕

本年度は、新市「まちづくりの基本方針・3」に基づき、学校教育担当及び保健給食担当において、学校・家庭・地域が互いに固く絆を結び、人生の礎となる「生きる力」を身につけた子どもたちをしっかりと育てることができるよう、各種事務事業を実施した。

学校教育においては、未来を担う栃木市の子どもとして「自分のよさをのびのびと発揮し、自らの意志で自らの人生をいきいきと切り拓く力」（生きる力）を身につけた子どもを育成するため、次の6点に重点を置いて事業を展開した。

1. 授業力の向上

教育研究所と連携し、教職員研修を充実させ、教育講演会や教育研究発表会を実施する等、教職員の指導力の向上を図った。

また、希望研修、各校の学校課題の研究等について支援や指導を行った。

2. 教育環境の整備

教職員人事管理事務、就学援助事務及び教科書無償給与事務等を行うと同時に、新学習指導要領対応の理科教育備品整備を行い、教育環境の充実を図った。

3. 児童・生徒指導の充実

小・中・高等学校間や人権擁護委員、スクールガードリーダー等の関係機関、さらには学校・家庭・地域との連携を図るため、研究会や連絡協議会をそれぞれ開催し、児童生徒指導に必要な情報交換等を行った。また、不登校児童生徒を対象にした「適応指導教室」や外国人児童生徒を対象にした「外国人適応指導教室」を運営し、児童生徒の適応指導と教育相談等を行った。

4. 学習指導の充実

大平東小学校、大平西小学校、大平中学校を学力向上研究校に指定し、小中学校が連携を深めつつ、授業の改善・充実のための研究を推進した（1年目）。また、放課後教室のモデル校を指定し、家庭・学校・ボランティアとの協働での放課後教室のあり方の研究を行った。さらに、各学校の特別に支援の必要な児童生徒への対応や学習や生活指導の支援を行う学校支援員65人を派遣した。

5. キャリア（進路）指導の充実

小学校では校外学習等、中学校では職場体験学習等を通して、勤労の大切さや尊さを学ばせたりする教育を展開し、児童生徒一人一人の将来の生き方を考える力の育成を図った。

6. コミュニケーション力を育てる国際教育

小中学校の英語教育を充実させるため、外国語指導助手17人を各学校に派遣し、外国語を通じたコミュニケーション力の育成に重点を置いた授業を展開した。特に、東陽中学校区の5つの小中学校において、文部科学省指定の「教育研究開発事業（英語教育関係）」を実施し、児童・生徒が主体的にコミュニケーションを図ろうとするなど望ましい変容が見られるようになった。

そのほか、人権教育については、教職員等を対象に学校人権教育研修会を実施するとともに、栃木第五小学校と栃木西中学校を人権教育研究学校に指定し、学校における人権教育の推進を図った（3年目）。また、教育研究所においては、所長の宇都宮大学松本敏教授を中心に教育課題等の調査研究や教職員の資質向上のための研修機能を充実させ、「同僚性」を根幹に据えた本市教育のシンクタンク的な機能を発揮できるように、組織の再編を進めた。

学校保健については、心身共に健康な児童・生徒の育成を目指し、各種健康診断を実施した。

心臓検診、腎臓検診では検査の結果、有所見者に対して各専門医による判定会を開催し、学校生活管理指導表により事後の管理指導を行った。

むし歯予防事業では、歯科検診および「むし歯ゼロ学校巡回指導」を実施し、児童生徒に対して歯・口腔衛生の正しい知識と疾病予防の指導を行った。

そのほか、結核健康診断、就学時健診、教職員の生活習慣病検診等の事業を実施した。

また、学校薬剤師による飲料水、プールの水質、照度、一・二酸化炭素等の定期検査により学校の保健環境衛生の向上に努めた。

学校給食については、児童生徒が正しい食習慣を身に付け、自己の健康保持増進を図ることを目指した。

食事内容については、献立の多様化や地産地消の拡大を図るなどして、安全で安心な、子どもたちに喜ばれる学校給食の提供に努めた。

また、食中毒を未然に防止するため、調理従事者を対象に衛生教育研修を実施するとともに、施設設備の改善充実に努めるなどして、衛生管理の徹底を図った。

さらに、栄養教諭等による食に関する指導についても、研究を推進した。

学校教育担当

1 学務に関する事業

(1) 教職員の人事事務(県費負担職員)

年度末における完退者及び定期異動に伴う転退者、転採者、転勤者あるいは新採者について、それに関する書類作成、辞令交付式の開催、また、年度途中における産育休者、傷休者等についてその休暇承認や補充者採用の内申等を行った。

(単位：人)

完退者	転退者	転勤者	転採者	新採者
23	54	91	36	28
傷休者	休職者	介休者	産休者	育休者
17	3	1	7	13

(2) 教職員の服務・管理に関する事務(県費負担職員)

- ・年度末教職員人事異動に伴う学校管理事務説明会
- ・人事異動に伴う事務

- ・学級編制に関する事務
- ・学校事故に関する事務
- ・受験届に関する事務
- ・校長選考試験に関する事務
- ・教頭、主幹教諭選考試験に関する事務
- ・教職員評価制度に関する事務
- ・表彰に関する事務
- ・公務災害に関する事務

(3) 教職員給与内申発令関係事務

教職員の昇給の時期は、4月1日であり、その約1か月前に届いた定期昇給昇格内申書の内容について昇給予定者で記載漏れはないか、昇給延伸該当者で昇給として記載されていないか等の点検を行った後、県教育委員会に内申を行った。

(4) 教職員団体に関する事務

地方公務員法及び職員団体の登録に関する条例・規則に基づいた教職員の団体（栃教協）との研修事業、各種研修等に係る補助金、委託料に関する事務を行った。

(5) 児童生徒の就学に関する事務

小中学校児童生徒就学状況 (単位：人)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	児童数	学級数	生徒数	学級数
22年5月1日	7,665	294	3,714	142
23年5月1日	7,519	292	3,710	140
比較	△146	△2	△4	△2

(6) 要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業

経済的理由により就学困難な児童生徒に対し学用品費等を支給し、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施を図った。

実施状況

小学校	200人	10,597,832円
中学校	145人	12,367,604円
計	345人	22,965,436円

(7) 特別支援教育就学奨励費補助事業

市立小中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、必要な学用品費等の支給を行った。

実施状況

小学校	41人	1,288,918円
中学校	17人	962,805円
計	58人	2,251,723円

(8) 遠距離通学児童生徒援助事業

遠距離通学児童生徒通学費補助金の交付状況

小学校 4 km以上 中学校 6 km以上

皆川城東小	6人	149,000円
寺尾中央小	7人	64,800円
計	13人	213,800円

(9) 学校教育設備整備費等（理科教育等設備整備費）補助事業

学校教育設備整備費等補助金により、小学校11校、中学校7校の整備を行った。

本年度小学校整備額	1,717,641円
本年度中学校整備額	1,316,791円
計	3,034,432円

(10) 臨海自然教室実施事業

とちぎ海浜自然の家での集団宿泊生活を通じて、学校教育活動を行う臨海自然教室を実施した。

実施学校名	参加数(人)	実施期間	経費(円)
栃木中央小	86	1月16日(月)～1月18日(水)	270,729
栃木第三小	82	1月18日(水)～1月20日(金)	180,486
栃木第四小	24	1月30日(月)～2月1日(水)	90,244
栃木第五小	89	1月18日(水)～1月20(金)	270,729
南小	73	1月23日(月)～1月25日(水)	180,486
大宮南小	21	1月23日(月)～1月25日(水)	90,244
大宮北小	133	1月30日(月)～2月1日(水)	360,972
皆川城東小	36	1月23日(月)～1月25日(水)	90,244
吹上小	53	1月16日(月)～1月18日(水)	180,486
千塚小	29	1月18日(水)～1月20日(金)	90,244
国府北小	34	1月23日(月)～1月25日(水)	90,244
大平東小	55	1月16日(月)～1月18日(水)	180,486
大平西小	60	1月16日(月)～1月18日(水)	180,486
大平中央小	123	1月23日(月)～1月25日(水)	360,972
藤岡小	49	1月30日(月)～2月1日(水)	180,486
部屋小	27	1月30日(月)～2月1日(水)	90,244
赤麻小	24	1月30日(月)～2月1日(水)	90,244
三嶋小	37	1月18日(水)～1月20日(金)	90,244
家中小	48	1月16日(月)～1月18日(水)	180,486
赤津小	35	1月18日(水)～1月20日(金)	90,244
計	1,118	—	3,339,000

2 指導に関する事業

(1) 学校訪問指導

学校運営、学習指導、生徒指導、人権教育等に関して指導した。

- ・共同訪問 栃木中央小、吹上小、家中小、吹上中、藤岡第一中
- ・研究学校 栃木中央小（環境教育推進学校）、栃木五小・栃木西中（市指定人権教育研究学校）、大宮南小・大宮北小・国府南小・国府北小・東陽中（文科省指定教育研究開発校）、皆川城東小・皆川中（市指定小中一貫教育研究学校）吹上小・千塚小・吹上中、大平南小・大平中央小、大平南中、部屋小・藤岡第二中（市指定姉妹校化推進学校）、千塚小・大平南小・三鴨小・赤津小（市指定放課後教室研究学校）、寺尾中央小・寺尾南小・寺尾中（市指定感性を育む教育研究校）、国府北小（市指定セカンドステップ研究校）

・学校訪問実施状況

No	学校名	各教科等	訪問日	備考
1	栃木中央小	社会	6月14日（火）	3年目研修
2	栃木中央小	国社算理生特別	6月24日（金）	研究校訪問
3	栃木中央小	特別支援(新任)国	6月28日（火）	特別支援訪問
4	栃木中央小	国社算理	11月14日（月）	研究校訪問
5	栃木三小	国語	6月30日（木）	
6	栃木三小	国語	10月13日（木）	
7	栃木四小	国語・社会	6月29日（水）	
8	栃木四小	国語	11月2日（水）	
9	栃木五小	道徳等(人権)	6月28日（火）	研究校訪問
10	栃木五小	社会	7月1日（金）	3年目研修
11	栃木五小	各教科・領域	11月11日（金）	研究発表会
12	南小	国語 2授業	6月24日（金）	3年目研修
13	南小	国語 2授業	11月14日（月）	
14	大宮南小	外国語活動	6月22日（水）	研究校訪問
15	大宮南小	外国語活動	1月31日（火）	研究校訪問
16	大宮北小	外国語活動	6月29日（水）	研究校訪問
17	大宮北小	外国語活動	9月26日（月）	研究校訪問
18	皆川城東小	国語	11月2日（水）	3年目研修
19	吹上小	算数	10月26日（水）	
20	吹上小	算数	11月28日（月）	
21	千塚小	国語	11月22日（火）	
22	寺尾中央小	国語	6月28日（火）	

23	寺尾中央小	国語	10月28日(金)	
24	寺尾南小	国語	6月22日(水)	
25	寺尾南小	国語	10月5日(水)	
26	国府南小	外国語活動	6月10日(金)	研究校訪問
27	国府南小	外国語活動	10月14日(金)	研究校訪問
28	国府北小	外国語活動	6月1日(水)	研究校訪問
29	国府北小	外国語活動	10月26日(水)	研究校訪問
30	大平東小	外国語活動	6月21日(火)	研究校訪問
31	大平東小	特別支援	11月14日(月)	特別支援訪問
32	大平南小	算数	6月22日(水)	
33	大平南小	算数	10月19日(水)	
34	大平西小	国語	6月29日(水)	3年目研修
35	大平西小	国語	10月5日(水)	研究校訪問
36	大平西小	算数	11月24日(木)	研究校訪問
37	大平中央小	特別支援(新任)国	6月30日(木)	特別支援訪問
38	大平中央小	算数	10月26日(水)	
39	大平中央小	国語	10月26日(水)	3年目研修
40	藤岡小	特別支援 算	6月21日(火)	特別支援訪問
41	藤岡小	国語	6月15日(水)	
42	部屋小	総合的な学習	12月7日(水)	
43	赤麻小	特別支援(新任)算	6月22日(水)	特別支援訪問
44	赤麻小	国語	10月19日(水)	
45	赤麻小	国語・算数	11月8日(火)	
46	三鴨小	算数	10月12日(水)	
47	合戦場小	国語	6月29日(水)	
48	合戦場小	国語	10月12日(水)	
49	合戦場小	特別支援	1月31日(火)	特別支援訪問
50	家中小	国語	6月21日(火)	
51	赤津小	算数	6月8日(水)	
52	赤津小	算数	11月4日(金)	
53	赤津小	算数	11月22日(火)	3年目研修
54	西方小	国語	11月9日(水)	
55	真名子小	国語(4年)	10月12日(水)	
56	真名子小	国語(2年)	11月16日(水)	
57	真名子小	国語(1年)	1月25日(水)	

58	真名子小	国語(5年)	2月8日(水)	
59	栃木東中	特別支援(新任)算	6月23日(水)	特別支援訪問
60	栃木東中	理科	11月2日(水)	
61	栃木東中	社会	11月17日(木)	
62	栃木東中	数学	12月13日(火)	
63	栃木西中	学活・道德	6月30日(木)	研究校訪問
64	栃木西中	英語・保健体育	9月16日(金)	3年目研修
65	栃木西中	研修会(人権)	9月21日(水)	研究校訪問
66	栃木西中	各教科・領域	11月18日(金)	公開発表会
67	栃木南中	数学	6月17日(金)	
68	栃木南中	特別支援(新任)社	7月11日(月)	特別支援訪問
69	栃木南中	道德	10月13日(木)	
70	東陽中	技家・保健体育	9月22日(木)	3年目研修
71	東陽中	英語	10月12日(水)	研究校訪問
72	東陽中学区	公開発表会	11月21日(月)	研究発表会
73	東陽中	道德	1月18日(水)	
74	皆川中	小中合同研修会	5月25日(水)	研究校訪問
75	皆川中	特別支援(新任)	6月7日(火)	特別支援訪問
76	皆川中	理科(皆城小)	6月29日(水)	研究校訪問
77	皆川中	社会(皆城小)	10月5日(水)	研究校訪問
78	皆川中	国語(皆城小)	11月2日(水)	研究校訪問
79	皆川中	道德	11月28日(月)	研究校訪問
80	皆川中	小中合同研修会	2月1日(水)	研究校訪問
81	吹上中	保体	9月9日(金)	
82	吹上中	家庭	11月22日(火)	
83	吹上中	英語	11月22日(火)	
84	吹上中	理科	11月22日(火)	3年目研修
85	寺尾中	保体・道德	6月7日(火)	
86	大平中	道德	9月27日(火)	研究校訪問
87	大平中	社会	9月27日(火)	研究校訪問
88	大平中	特別支援 生活	10月24日(月)	特別支援訪問
89	大平南中	保体	10月4日(火)	
90	大平南中	国語	11月28日(月)	3年目研修
91	大平南中	道德	11月18日(金)	
92	藤岡一中	保体	9月20日(火)	3年目研修

93	藤岡二中	国語	6月20日(月)	
94	藤岡二中	数学	11月21日(月)	
95	都賀中	数学	6月13日(月)	
96	都賀中	音楽	6月15日(水)	
97	都賀中	理科	10月12日(水)	
98	都賀中	特別支援	10月19日(水)	特別支援訪問
99	都賀中	道徳・学活	11月17日(木)	
100	西方中	数学	11月30日(水)	
101	栃木中央小	各教科・領域	10月17日(月)	共同訪問
101	吹上小	各教科・領域	5月30日(月)	共同訪問
102	家中小	各教科・領域	11月30日(水)	共同訪問
103	吹上中	各教科・領域	6月29日(水)	共同訪問
104	藤岡一中	各教科・領域	11月16日(水)	共同訪問

・その他学校課題等に関する訪問

学校課題 【別表1】 平成23年度 学校課題・研究主題一覧表参照

(2) 教育研究発表会

教職員を対象に、日頃の教育実践研究の成果を発表し、資質の向上を図り、指導法の改善に努めた。

・実施日 1月24日(火)

・口頭発表者 7件

(小学校4件、中学校区1件、高等学校1件、栃木特別支援学校1件)

・紙上発表者 7件

(小学校3件、中学校1件、高等学校1件、適応指導教室1件、栃木市教育研究所1件)

・参加者 市内小・中・高等学校の教員 106人

(3) 人権教育研修

ア 第1回栃木市人権教育研修会

・開催日 8月10日(水)

・講話 「人権教育に望むこと」

・講師 部落解放同盟栃木県連合会事務局長 戸田 眞氏

・参加者 各小・中学校の人権教育主任

イ 第2回栃木市人権教育研修会

・開催日 8月12日(金)

・講話 「各教科等における直接的指導のタイプの授業の実際について」

・班別研修 「授業づくりを通じた研修」

・参加者 各小・中学校1人

(4) 外国語指導助手学校派遣

外国語指導助手16人(西方合併後は17人)を各学校へ派遣した。小中の学校種ご

とに訪問計画を立て、市内全小中学校へ、長期休業を除く月曜日から金曜日のほぼ毎日訪問した。

延べ訪問日数

中学校	1,182日
小学校	1,980日
西方地区(合併後)	109日
小中学校合計	3,271日

(5) 特別支援教育関係事業

特別支援教育に関わる人材を育成し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導法を習得するため、研修会等を開催した。

ア 特別支援教育研修会

- ・実施回数 2回
- ・対象 特別支援教育コーディネーター 37人
特別支援学級担任等希望者 44人

イ 学校生活支援員研修会

- ・実施回数 3回
- ・対象 全支援員

ウ ゆっくり学習会

- ・実施回数 4回
- ・対象 幼稚園・保育園 26人
小学校・中学校 28人

エ 特別支援教育新任担当教員研修

オ 特別支援学級教室訪問支援

カ 臨床心理士等による巡回訪問支援等

(6) 教科書無償給与事務

小中学校児童・生徒教科書給与事務 (単位：冊)

区 分		冊 数
小 学 校	前期用	49,061
	前期転学用	104
	後期用	19,877
	後期転学用	149
中 学 校	前期用	35,994
	前期転学用	48
	後期用	—
	後期転学用	65
合 計		105,298

(7) 教師用教科書及び指導書購入貸与事務

小中学校の教師用教科書及び指導書の購入事務

区 分		冊数（冊）	費用（円）
小学校	教師用教科書 前後期用	795冊	272,758
	教師用指導書 前後期用	646冊	5,605,635
中学校	教師用教科書 前後期用	800冊	384,233
	教師用指導書 前後期用	808冊	14,934,570
合 計		3,049冊	21,197,196

(8) 立志式

14歳を迎える生徒たちは精神的にも肉体的にも、子どもから大人へ移り変わる時期である。この青春期にさしかかろうとする少年少女に対し、皆でその成長を祝い、併せて生徒一人一人に自立への自覚を促し、理想に向かって確かな歩みをさせる契機とするものとして、「立志式」を開催した。

学 校 名	実施日	該当者数(人)
栃木東中	1月22日（日）	106
栃木西中	2月3日（金）	145
栃木南中	1月26日（木）	121
東陽中	1月26日（木）	162
皆川中	1月25日（水）	42
吹上中	2月5日（日）	94
寺尾中	2月9日（木）	19
大平中	1月29日（日）	113
大平南中	1月20日（金）	167
藤岡第一中	2月3日（金）	96
藤岡第二中	1月25日（水）	24
都賀中	2月12日（日）	101
西方中	2月8日（水）	59
計		1,249

(9) 幼・保・小連絡協議会

ア 代表者会議

イ 全体研修会（講話）

・参加者 幼稚園・保育園・小学校・特別支援学校 計84人

ウ 幼保小教職員相互職場体験研修

区 分	参加者(人)	期間(日)
幼稚園・保育園から小学校へ	15	21
小学校から幼稚園・保育園へ	17	22

エ その他 地域ごと

- ・授業参観と授業研究会及び保育参観と意見交換
- ・教職員・子ども同士の交流 など

(10) 地域ぐるみ児童生徒指導

ア 1 2 中学校区児童生徒指導連絡協議会

各中学校地区で教育講演会や健全育成推進活動を展開

- ・実施期間 6月～2月

イ 栃木市児童生徒指導研究会

異校種間の情報交換やスクールガードリーダー・人権擁護委員並びに保護司との合同研究会を開催

- ・実施期間 4月～3月

ウ 各部会

中学校部会	毎月1回
小・中部会	5月26日(木)、7月5日(火)
小・中・高部会	12月5日(月)

(11) 適応指導教室運営に関する事務

学校教育指導員等が、不登校及び不登校傾向にある児童生徒に対して、学校への復帰のための自立を促し、学校生活への適応を図るための指導・支援及び保護者に対する教育相談を行った。

- ・適応指導教室通級人数 22人(学校復帰人数18人)

来所相談	541件
電話相談	729件
学校訪問	246件
家庭訪問	276件
合計	1792件

保健給食担当

1 学校保健管理

(1) 結核健康診断(学校保健法施行規則に基づき4月～6月実施)

ア 小中学校

(単位:人)

区分	検診対象者	検診者数	検討対象者数	精密検査不要者	要精検
小学校	7,519	7,516	11	11	0
中学校	3,886	3,870	0	0	0
合計	11,405	11,386	11	11	0

※中学校には国学院中学も含む。

イ 教職員(全教職員 胸部レントゲン間接撮影)

(単位：人)

区分	教職員数	受診者	未受診者	未受診者理由	結核有所見者
小学校	614	602	12	妊娠中・妊娠疑い 12	—
中学校	351	343	8	傷病休暇（育休・休職含む）8	
計	965	945	20	20	—

(2) 小中学校腎臓検診（4月～6月）

一次・二次検査結果及び三次検査対象者

(単位：人)

区分	検査対象者	検査実施者	一次検査	二次検査	三次検査		
			有所見者	要精検者	新規対象者	継続管理者	計
小学校	7,523	7,514	264	131	131	75	206
中学校	3,711	3,691	230	99	99	69	168
合計	11,234	11,205	494	230	230	144	374

※三次検査 要精検率 3.3%

(3) 学校心臓検診（検診5月～6月、4年生のみ9月）

(単位：人)

区分	在籍者数	一次検診		二次検診		二次検診省略者数	精密検査
		受診者数	一次有所見者	二次受診者数	要精検者数		精検受診者数
小学校一年生	1,141	1,141	76 (6.7%)	36	35 (3.1%)	40	32 (2.8%)
中学校一年生	1,266	1,265	123 (9.7%)	89	42 (3.3%)	34	38 (3.0%)
合計	2,407	2,406	199 (8.3%)	125	77 (3.2%)	74	70 (2.9%)
小学校四年生	1,277	1,274	37 (2.9%)				37 (2.9%)

※（ ）は有所見率

(4) むし歯ゼロ学校事業「学校巡回指導」

- ・実施日 6月2日（木）～7月14日（木）までの11日間
- ・実施校 市内小学20校
- ・参加者 児童908人
保護者多数（自由参加）
- ・実施内容 児童指導 歯科衛生士による講話、染めだし、歯みがき指導
保護者指導 児童指導の参観、学校歯科医・歯科衛生士による講話

(5) 定期健康診断（生活習慣病検診）

- ・実施時期 8月～10月
- ・対象 学校教職員（県職）

	受診者数（人）	要精検者数（人）	要精検率（%）
小学校	213 (61)	46 (5)	21.6 (8.2)
中学校	125 (40)	30 (4)	24.0 (10.0)
合計	338 (101)	76 (9)	22.5 (8.9)

※（ ）内は胃部X線検査受診者再掲

※血圧、尿検査、血液検査、心電図検査、視力検査及び聴力検査は全員対象

(6) 就学時健康診断

- ・実施時期 9月～10月
- ・対象 平成17年4月2日～平成18年4月1日生の児童
- ・被検査者数 1,204人（男子630人、女子574人）
- ・検査状況 (単位：人)

項目		性別		
		男子	女子	合計
栄養 状態	栄養不良	-	-	-
	肥満傾向	-	-	-
脊椎異常のある者		1	-	1
胸郭異常のある者		1	-	1
視力0.7未満		64	74	138
眼 疾患	結膜炎	7	9	16
	その他	13	7	20
耳鼻 咽頭 疾患	中耳炎	3	1	4
	扁桃腺肥大	2	3	5
その他		15	9	24
皮膚 疾患	伝染性	-	-	-
	その他	11	6	17
歯	むし歯なし	296	264	560
	〃 処置者	122	123	245
	〃 未処置者	220	190	410
その他歯疾病		7	9	16
口腔疾病及び異常		15	15	30
その他 疾病及 び異常	ぜんそく	90	41	131
	アレルギー	39	24	63
	心臓疾患	5	7	12
	腎臓疾患	2	-	2
	川崎病既往	9	4	13
	てんかん	3	4	7
	その他	53	32	85

(7) 出席停止

伝染病及び感染症による欠席児童生徒

(単位：人)

学校	月											
	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	計
小学校	119	230	163	90	28	60	48	6	440	1,749	676	3,609
中学校	6	11	4	6	1	5	5	0	70	336	238	682
合計	125	241	167	96	29	65	53	6	510	2,085	914	4,291

※8月は夏休みのため実績なし

(8) 日本スポーツ振興センター災害給付金給付状況

学校名	児童・生徒数(人)	給付件数(件)	初回発生件数(件)	給付額(円)
栃木中央小	542	53	29	207,386
栃木第三小	457	23	20	141,126
栃木第四小	193	25	16	213,054
栃木第五小	599	42	25	242,460
南小	341	19	13	93,680
大宮南小	66	5	2	15,564
大宮北小	839	37	18	168,402
皆川城東小	194	9	8	42,284
吹上小	363	14	12	98,968
千塚小	197	22	15	99,180
寺尾中央小	92	12	8	177,185
寺尾南小	28	5	5	29,780
国府南小	57	13	8	40,444
国府北小	294	12	7	35,662
大平東小	321	13	8	44,480
大平南小	357	37	20	241,278
大平西小	367	30	23	269,064
大平中央小	685	53	30	410,802
藤岡小	264	15	11	66,836
部屋小	142	17	8	83,508
赤麻小	189	14	10	82,084
三鴨小	198	8	5	37,140
合戦場小	331	21	14	94,984
家中小	231	24	15	185,614
赤津小	172	16	11	64,228
西方小	304	13	7	49,932
真名子小	62	5	4	16,684
小学校計	7,885	557	352	3,251,809
栃木東中	317	41	19	175,948
栃木西中	478	54	37	284,010
栃木南中	305	55	29	585,936
東陽中	554	121	72	723,947
皆川中	129	23	13	111,158
吹上中	265	57	37	285,744
寺尾中	84	4	4	15,772

大 平 中	334	118	52	1,041,499
大 平 南 中	491	182	88	1,485,674
藤 岡 第 一 中	338	66	37	339,568
藤 岡 第 二 中	72	21	11	202,020
都 賀 中	343	118	72	672,694
西 方 中	186	19	12	90,849
中 学 校 計	3,896	879	483	6,014,819
合 計	11,781	1,436	835	9,266,628

2 学校環境衛生管理

区 分	検 査 日	検 査 項 目	備 考
飲料水 水質検査	5月10日（火）	理化学・細菌検査10項目	水道水、地下水
	12月13日（火）	理化学・細菌・重金属等 検査51項目	地下水 (地下水使用校5校)
飲料水 放射能検査	10月3日（月）	放射性ヨウ素1項目、 放射性セシウム3項目	地下水 (地下水使用校5校)
プール水水質検査 プール施設調査	6月15日（水）	水質6項目、施設安全管理調査	2点測定
	6月21日（火）	水質6項目、施設安全管理調査	〃
	7月4日（月）	水質6項目、施設安全管理調査	〃
	7月12日（火）	水質6項目、施設安全管理調査	〃
	7月27日（水）	水質6項目、施設安全管理調査	〃（再検査）
プール水 放射能検査	5月27日（金）	放射性ヨウ素1項目、	小学校2校
	5月30日（月）	放射性セシウム3項目	
照度検査	11月～12月	照度測定	
一・二酸化炭素検査	1月～3月	一・二酸化炭素濃度検査	

※ 地下水使用校の飲料水水質検査は毎月1回実施

3 学校給食実施状況

(1) 栃木地域

ア 学校給食栄養摂取状況

小学校はほぼ基準どおりであるが、中学校のカルシウム・鉄の摂取量に若干不足が見られるので、今後これらの点を考慮して献立を作成し、基準量の摂取に努めたい。

区 分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂 肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)
小学校平均摂取栄養量	649	25.8	21.6	353	2.9	313	0.64	0.61	33
中学校平均摂取栄養量	804	30.9	25.4	386	4.0	376	0.79	0.69	36

※ 小学校14校、中学校7校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	栃木中央小学校	栃木中央小	542	21	栄養職員1 (1)	4(1)	鉄筋コンク リート造	217
2	栃木第三小学校 給食共同調理場	栃木第三小	457	15	栄養職員1	委託	"	195
		栃木東中	317	13				
3	栃木第四小学校 給食共同調理場	栃木第四小	193	7	栄養職員1	4(1)	"	331
		栃木南中	305	11				
4	栃木第五小学校 給食共同調理場	栃木第五小	600	21	栄養職員1	委託	"	349
		栃木西中	478	17				
5	南小学校 給食共同調理場	南小	341	12	栄養職員1	委託	鉄骨造	145
		大宮南小	66	5				
6	大宮北小学校 給食共同調理場	大宮北小	839	26	栄養職員1	委託	"	175
		国府南小	57	6				
7	吹上小学校 給食共同調理場	吹上小	363	12	栄養職員1	委託	"	155
		吹上中	264	10				
8	千塚小学校 給食共同調理場	千塚小	197	8	栄養教諭1	5(1)	鉄筋コンク リート造	310
		皆川城東小	197	8				
		皆川中	129	7				
9	寺尾中央小学校 給食共同調理場	寺尾中央小	92	6	栄養職員1	3(1)	"	252
		寺尾南小	28	3				
		寺尾中	84	3				
10	国府北小学校 給食共同調理場	国府北小	294	13	栄養職員1	委託	"	194
		東陽中	554	19				
計	10調理場	21校	6,397	243	10(1)	16(4)		

※()は臨時職員の内数

ウ 各学校別給食実施延べ食数

学校名	実施 人員	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
栃木中央小	583	67	38,522	73	42,113	50	27,851	190	108,486
栃木第三小	496	65	31,920	74	36,326	50	23,114	189	91,360
栃木第四小	216	67	14,388	72	15,393	50	10,675	189	40,456
栃木第五小	642	67	42,373	72	45,647	50	31,449	189	119,469
南小	373	66	24,543	73	27,005	50	17,479	189	69,027
大宮南小	80	66	5,231	72	5,607	48	3,641	186	14,479
大宮北小	895	66	57,721	74	65,113	50	42,432	190	165,266

皆川城東小	210	67	13,932	73	15,115	51	10,335	191	39,382
吹上小	395	67	26,213	72	29,101	50	18,909	189	74,223
千塚小	221	65	14,284	73	15,719	51	10,761	189	40,764
寺尾中央小	112	66	7,335	73	8,007	50	5,584	189	20,926
寺尾南小	40	65	2,628	72	2,918	50	1,978	187	7,524
国府南小	73	67	4,815	73	5,211	50	3,490	190	13,516
国府北小	326	67	21,686	74	23,759	51	15,748	192	61,193
栃木東中	346	65	22,114	71	24,034	50	15,277	186	61,425
栃木西中	510	65	32,336	71	35,480	50	24,157	186	91,973
栃木南中	332	64	21,036	72	23,843	50	14,896	186	59,775
東陽中	584	66	37,296	72	41,839	50	27,560	188	106,695
皆川中	147	65	9,396	72	10,512	51	6,835	188	26,743
吹上中	395	63	18,224	72	20,698	50	13,074	185	51,996
寺尾中	100	66	6,422	72	7,188	50	4,624	188	18,234
合計	6,971		452,415		500,628		329,869		1,282,912

(2) 大平地域

ア 平成23年度学校給食栄養摂取状況

小・中学校ともほぼ基準どおりであるが、中学校でカルシウム・鉄の摂取不足が懸念されるので、これらの点に十分考慮し、引き続き基準量の摂取に努めたい。

区分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)
小学校平均摂取栄養量	635	26.4	21.8	376	3.2	275	0.63	0.60	30
中学校平均摂取栄養量	838	31.4	25.9	401	3.9	310	0.76	0.67	35

※小学校4校、中学校2校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	大平学校給食 センター	大平東小	321	13	栄養職員1 栄養教諭1 (1)	委託	鉄骨造	989
		大平南小	357	14				
		大平西小	367	14				
		大平中央小	685	22				
		大平中	334	13				
		大平南中	492	17				
計	1調理場	6校	2,556	93	2(1)			

※()は臨時職員の内数

ウ 各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施 人員	1 学期		2 学期		3 学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
大平東小	346	68	23,256	75	25,347	51	17,198	194	65,801
大平南小	383	68	25,925	74	28,000	51	18,819	193	72,744
大平西小	392	68	26,311	75	29,537	51	19,771	194	75,619
大平中央小	726	68	48,755	75	53,654	50	34,599	193	137,013
大平中	363	65	23,168	94	26,463	51	17,512	190	67,143
大平南中	524	66	34,061	74	38,276	51	24,904	191	97,241
センター	22	68	1,481	76	1,675	52	1,146	196	4,302
合計	2,756		182,957		202,957		133,949		519,563

(3) 藤岡地域

ア 学校給食栄養摂取状況

小学校はほぼ基準どおりであるが、中学校のエネルギーとカルシウム・鉄が基準量を満たしていないので、今後不足しないよう献立を作成する際に十分考慮する。

区分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)
小学校平均摂取栄養量	622	24.8	20.4	333	2.9	166	0.48	0.58	30
中学校平均摂取栄養量	803	30.5	24.6	373	3.7	210	0.60	0.66	36

※小学校4校、中学校2校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	藤岡学校給食 センター	三鴨小	198	7	栄養職員2 (1)	11 (9)	鉄骨造	961
		赤麻小	186	6				
		藤岡小	260	9				
		部屋小	144	6				
		藤岡第一中	303	10				
		藤岡第二中	70	3				
計	1調理場	6校	1161	41	2(1)	11(9)		

ウ 各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施 人員	1 学期		2 学期		3 学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
三鴨小	217	69	15,048	74	15,978	51	10,520	194	41,546
赤麻小	208	69	14,365	75	15,181	51	10,142	195	39,688
藤岡小	287	69	19,885	75	21,182	51	14,034	195	55,101
部屋小	158	69	10,714	74	11,493	51	7,902	194	30,109
藤岡第一中	364	66	23,905	75	26,912	51	17,531	192	68,348

藤岡第二中	87	68	5,915	73	6,342	51	4,078	192	16,335
センター	16	69	1,121	76	1,226	52	832	197	3,179
合計	1,337		90,953		98,314		65,039		254,306

(4) 都賀地域

ア 学校給食栄養摂取状況

今後とも、児童生徒の健康状態を考慮しながら、献立を作成し、対象児童生徒にとって望ましい栄養量の摂取ができるように努めたい。

区分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)
小学校平均摂取栄養量	698	26.8	23.2	336	2.5	358	0.75	0.58	33
中学校平均摂取栄養量	868	32.5	27.5	367	3.2	459	0.98	0.65	40

※小学校3校、中学校1校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	都賀学校給食 センター	合戦場小	331	12	栄養職員1 栄養教諭1 (1)	14 委託	鉄骨造	1046
		家中小	231	8				
		赤津小	171	6				
		都賀中	342	11				
計	1調理場	4校	1075	37	2(1)	14		

ウ 各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施 人員	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
合戦場小	356	68	24,106	74	26,082	51	18,234	193	68,422
家中小	250	67	16,550	74	18,494	51	12,523	192	47,567
赤津小	187	67	12,801	74	13,899	50	9,381	192	36,081
都賀中	371	68	24,036	75	27,593	50	17,782	193	69,411
センター	18	69	1,232	79	1,432	52	956	200	3,620
合計	1,182		78,725		87,500		58,876		225,101

(5) 西方地域

ア 学校給食栄養摂取状況

小・中学校ともほぼ基準どおりであるが、カルシウム・鉄の摂取不足が懸念されるので、これらの点に十分考慮し、引き続き基準量の摂取に努めたい。

区分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)
小学校平均摂取栄養量	665	26.0	21.5	338	3.1	158	0.67	0.59	36
中学校平均摂取栄養量	830	32.0	25.4	383	3.8	204	0.85	0.66	43

※小学校2校、中学校1校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（10月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	西方小学校給食共同調理場	西方小	303	11	栄養教諭1	委託	鉄骨造	569
		真名子小	62	6				
		西方中	185	6				
計	1調理場	3校	550	23	1	14		

ウ 各学校別給食実施延べ食数

学校名	実施 人員	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
西方小	338			56	18,798	51	16,839	107	35,637
真名子小	74			56	4,136	51	3,798	107	7,934
西方中	202			55	11,311	51	9,893	106	21,204
合計	614			167	34,245	153	30,530	320	64,775

(6) 共同調理場運営協議会の開催

共同調理場運営協議会

- ・開催日 12月9日(金)
- ・場所 国府公民館
- ・参加者 委員他 23人

(7) 食育研究会の開催

栃木市食育研究会

- ・開催日 5月17日(火)、6月16日(木)、10月17日(月)、2月10日(金)
- ・場所 第2会議室他
- ・参加者 栄養職員他 69人

(8) 食に関する指導計画作成関係会議の開催

NO	期間	開催回数 (回)	事業名	場所	参加者
1	7月11日(月)～ 12月26日(月)	7	食に関する指導 作成検討会	ALT室他	栄養職員他述べ 48人
2	8月17日(水)～ 1月6日(金)	3	食に関する指導 計画作成部会	吹上公民館	給食主任・栄養職員他 述べ45人

(9) 献立作成会議の開催

NO	期間	開催回数 (回)	事業名	場所	参加者
1	4月28日(木)～ 2月10日(金)	10	食育研究会 (栃木地域)	第2会議室他	栄養職員他 述べ137人
2	4月14日(木)～ 3月6日(火)	11	献立作成会議 (大平地域)	大平学校 給食センター	栄養職員他 述べ77人

3	4月6日(木)～ 3月8日(木)	11	献立作成会議 (都賀地域)	都賀学校 給食センター	栄養職員他 述べ66人
4	10月13日(木)～ 2月29日(月)	6	献立作成会議 (西方地域)	西方小学校	栄養職員他 述べ34人

(10) 学校給食関係職員研修事業

NO	期 日	事 業 名	場 所	参加者
1	4月26日(火)	給食主任・栄養教諭等研修会	寺尾公民館	給食主任他 49人
2	7月21日(木)	学校給食調理員研修会(衛生講話・調理実習)	千塚小学校	調理員他 33人
3	7月27日(水)	給食主任・栄養教諭等研修会	国府公民館	給食主任他 48人
4	1月26日(木)	給食主任・栄養教諭等研修会	〃	給食主任他 50人
5	3月26日(月)	学校給食調理員研修会(衛生講話)	大宮公民館	調理員他 16人

【別表1】 平成23年度 学校課題・研究主題一覧表

学校名	研究主任名	学校課題・研究主題	教科等	備考
栃木中央小	山田 治子	かかわり合いの中で、自ら学ぶ子供の育成 ～かかわり合い学び合う授業の工夫～	全教科 全領域	環境教育推進学校
栃木第三小	生澤 通孝	表現力を豊かにする学習指導法の在り方 ～コミュニケーション能力を高めるための指導法の工夫～	国語科	
栃木第四小	関口 睦	自分の思いや考えを互いに伝え合える子どもの育成 —豊かな思考力・表現力を育む学習指導の在り方—	全教科	
栃木第五小	金子 一男	互いに認め合い、生き生きと伝え合う児童の育成 ～豊かな人間関係を築く表現力の育成をとおして～	道徳・社会 総合的な学習	市指定 人権教育研究学校
南 小	江連 昌子	一人一人を生かし、「伝え合う力」を高める指導法の研究 —豊かな表現力の育成をめざして—	国語科	
大宮南小	石川 幸子	国際社会にたくましく生きる栃木っ子の育成を目指して —主体的なコミュニケーション活動を通して—	外国語活動 (英語)	文科省指定 教育研究開発事業
大宮北小	星野 全代	国際社会にたくましく生きる栃木っ子の育成を目指して —主体的なコミュニケーション活動を通して—	外国語活動 (英語)	文科省指定 教育研究開発事業
皆川城東小	高木 紀之	豊かな人間性と的確なコミュニケーション能力の育成を目的とした、小 中一貫教育の教育課程の編成の在り方について(継続:第7年次) —言語活動の充実を中核とした「生きる力」の育成を視野に—	全教科及び総合的な学習の時間 (ことのは、生き方) 外国語活動	市指定 小中一貫教育研究学校
吹上小	清水 文枝	思考力・表現力をはぐくむ算数的活動の工夫 ～伝え合う活動の充実を目指して～	算数科	市指定 姉妹校化推進学校
千塚小	平宇 清子	言葉の力を高め、思いを伝え合える児童の育成 ～国語科を中心に～	国語科 全領域	市指定 姉妹校化推進学校 市指定 放課後教室研究学校

寺尾中央小	佐山 良江	言語活動を重視した授業展開の工夫 ～各教科等における実践～	各教科等	市指定 感性を育む教育研究校
寺尾南小	村井 一郎	自分の思いや考えを生き生きと伝え合えることができる子どもの育成 ～国語科における言語活動の充実を中心に～	国語科	市指定 感性を育む教育研究校
国府南小	橋本 圭子	国際社会にたくましく生きる栃木っこの育成を目指して ～主体的なコミュニケーション活動を通して～	外国語活動 (英語)	文科省指定 教育研究開発事業
国府北小	上田 好重	国際社会にたくましく生きる栃木っこの育成を目指して ～主体的なコミュニケーション活動を通して～	外国語活動 (英語)	文科省指定 教育研究開発事業 セカンドステップ研究校
大平東小	金山 ひとみ	ともに学び、考えを深め、互いに高め合おうとする子どもの育成 ～伝え合う場の設定の工夫を通して～	国語科算数科	市指定 学力向上研究 学校
大平南小	田上 茂喜	学び考える意欲を高めるための算数的な思考力や表現力の育成 ～基礎・基本の定着をふまえた算数的活動の工夫～	算数	市指定 姉妹校化推進学校 市指定 放課後教室研究学校
大平西小	海老沼 修	自分の思いや考えを表現できる児童の育成 ～言語能力の習得とその活用を図って～	全教科領域 (国語科を中心として)	市指定 学力向上研究学校
大平中央小	阿部 信太郎	自ら考え、友達とかかわりながら共に学び合う授業創り ～国語科・算数科での言語活動を通して～	国語科 算数科	市指定 姉妹校化推進学校
部屋小	杉森 貴子	確かな学力を身につけさせる指導の工夫 ～生活科・総合的な学習の時間を中心に～	生活科総合的な 学習の時間	市指定 姉妹校化推進学校
藤岡小	勝井 英之	「生き生きと伝え合う力の育成」 ～豊かな言語活動を通して～	全教科全領域	
赤麻小	青木 恭子	自分の思いや考えを、自分の言葉で表現する児童の育成 ～言語活動の充実をとおして～	国語科 算数科	

三 嶋 小	椿 和子	主体的に学習に取り組む子の育成 ～算数科における指導法の工夫・改善を通して～	算数科	市指定 放課後教室研究学校
合 戦 場 小	琴寄 とも子	自分の思いや考えを表現できる子どもの育成 ～書く活動を効果的に取り入れて～	全教科全領域	
家 中 小	柳 裕司	「自ら学び生き生きと活動できる児童の育成」 ～言語活動の充実をめざして～	国語科	
赤 津 小	布川 英子	算数好きな子どもを育てる算数科学習 ～算数的活動における言語活動の充実を通して～	算数科	市指定 放課後教室研究学校
西 方 小	飯塚 圭子	国語の好きな子が増えることをめざして ～国語科における「正しく読み取る力」を高めるための指導を通して～	国語科	
真 名 子 小	田中 偉子	基礎的・基本的事項を活用した「思考力」の育成 ～国語科における言語育成を目指して（「読むこと」の指導を通して）～	国語科	
栃 木 東 中	湯本 康弘	学ぶ喜びを実感して，学び合いを大切にする生徒の育成 ～学び合う力の向上を図る指導の具現化～	全教科 道徳・学級活動 特別支援	
栃 木 西 中	篠原 義雄	自他の人権・生命を尊重し，共に学び共に伸びる生徒の育成	全教科 全領域	市指定 人権教育研究学校
栃 木 南 中	江田 訓子	学ぶ意欲を高める指導法の工夫 —生徒も教師も満足感のある授業を目指して—	全教科 全領域	
東 陽 中	鈴木 龍一	相手意識を持って自分の思いを表現できるコミュニケーション力を身に付けた生徒の育成 —生徒の関心・意欲に基づく言語活動の在り方を求めて—	全教科	文科省指定 教育研究開発事業
皆 川 中	砂川 博史	豊かな人間性と的確なコミュニケーション能力の育成を目的とした，小中一貫教育の教育課程の編成の在り方について（継続：第7年次） —言語活動の充実を中核とした「生きる力」の育成を視野に—	全教科及び総合的な学習の時間 (生き方系列・ことのは系列)	市指定 小中一貫教育研究学校

吹上中	齊藤 雄輔	言語活動の充実に向けた指導方法について ～自己の考えを積極的に伝え合える生徒を目指して～	各教科	市指定 姉妹校化推進学校
寺尾中	石田 幸子	基礎学力の定着と向上を目指した指導法の工夫 ～学業指導の徹底と学習習慣の確立を基本として～	全教科	市指定 感性を育む教育研究校
大平中	小松原 唯弘	「基礎的・基本的な内容の定着を図るための指導法の工夫」 ～学習の約束の徹底と意欲的に取り組ませるための工夫～	全教科	市指定 学力向上研究学校
大平南中	藤間 亮子	表現力を高める指導法の工夫 ～主体的に考え表現できる生徒の育成をめざして～	全教科	市指定 姉妹校化推進学校
藤岡第一中	羽鳥 広康	協働的な学びの創造 ～教師の授業改革、学びあう授業づくり～	全教科	
藤岡第二中	川村 道子	「確かな学力の向上を図るための指導法の工夫～言語活動を通して～」	全教科 (美・技・家除く)	市指定 姉妹校化推進学校
都賀中	有澤 弘登	共に高め合い、主体的に学習に取り組む生徒の育成 —基礎基本の習得により、確かな学力を身に付けさせる指導及び評価の工夫—	全教科・領域	
西方中	小柳 ひろみ	確かな学力を付ける学習指導の工夫・改善 —言語活動を通して表現力を高める授業の充実をめざして—	全教科	

※表記については、各学校から報告された文言で示してある。